

MapInfo Professional 6.5.0.3100 パッチ用 ReadMe

目次

- I. 基本情報
- II. 著作権について
- III. 改良点および修正内容
- IV. その他

I. 基本情報

Oracle

MapInfo Professional 6.5.0.3100 は Oracle 9i Locator に対応していることが確認されています。

パッチ情報

このパッチは MapInfo Professional 6.5 およびランタイム版 6.5 のリリースバージョンにのみ適用することができます。このパッチは MapInfo Professional 6.5 ベータ版、MapBasic 6.5 または ProViewer 6.5 には対応していません。インターフェースの変更はないため、どの言語の MapInfo Professional ローカライズ版にも安全に適用できます。

次の 3つの不具合は今回のパッチで解決されているものです。このパッチで修正されたその他の不具合や障害は後述します。

- MapInfo Professional v6.5 で 3つ以上のテーブルを結合しようとした時に発生する不具合
- 特定のワークスペースを開こうとすると、それ以前のバージョンよりも時間がかかるという問題
- オブジェクトをバッファする際、「システムエラー:浮動小数点例外:無効」と表示される問題
(Windows95/98 で発生することがある)

更新されたファイル

ファイル	MapInfo Pro 6.5	パッチ Version 6.5.0.3100
MapInfow.exe (SCP版)	6.5.0.1904	6.5.0.3100
MapInfor.exe (SCP版)	6.5.0.1904	6.5.0.3100
MidlODBC.dll	6.5.0.1900	6.5.0.3100
Milib650.dll	6.5.0.1900	6.5.0.3100
LibSPW_mi.dll*	4.5.31.0	4.5.52.0
Halo.rhv	6.5.0.14	6.6.0.6
Leadtool.rhx	6.5.0.14	6.6.0.6
Miraster.dll	6.5.0.14	6.6.0.6
Mihiffl.dll	6.5.0.14	6.6.0.6

* LibSPW_mi.dll のバージョンは Windows 98 では異なります。

LibSPW_mi.dll for MapInfo Pro 6.5 is 4.5_C.31

LibSPW_mi.dll for MapInfo Patched version is 4.5_C.52

II. 著作権について

このソフトウェアは MERANT, 1991-2001 により著作権保護されています。

III. 改良点および修正内容

以下は今回のパッチで修正された不具合の一覧です。

ラベル

インシデント No.	内容
17823	ラベルのズーム表示を有効にし、最小ズーム値を0以外に設定してあるワークスペースを再オープンした時に、レイアウトウィンドウ内でラベルが消える。
19430	特定の環境において、マップのスクロールおよびラベルの移動中に MapInfo 6.5 が終了する。
19226	ワークスペースを開いて、レイアウトウィンドウ内でコレクション オブジェクトにラベルを設定すると MapInfo が終了する。
17897	MapInfo Professional 6.0 では演算式を使ってラベルに文字列を設定することが可能だったが、バージョン6.5 ではこの機能が正しく動作しない。

印刷

インシデント No.	内容
19176	特定の透過 Vertical Mapper GRC ファイルを使っての EMF/WMF への印刷やエクスポートが正しく動作しない。
19106	透過性レイヤを含む選択領域で EMF を使っての印刷、エクスポートが行えない。
18990	MapInfo Professional 6.0 では EMF を使用して画像を印刷すると画質が向上したが、バージョン6.5 では同じ動作を行っても同等の画質が得られない。
18447	印刷時および透過イメージ/グリッドの使用時、ベクター線がレイアウトフレームの縁からはみ出す。

オブジェクト処理

インシデント No.	内容
19193	MapInfo Professional 6.0 では動作する、特定のオブジェクトを使った併合コマンドが動作しない。
19352	特定のリージョンオブジェクトに対する分割、消去、あるいは他のオブジェクトとのオーバーラップ操作を行った時にエラーが発生する。
19101	特定のドーナツ型オブジェクトに対して、オブジェクト > オーバーラップ内消去の操作を実行すると結果が正しくないことがある。
19080	特定の環境において、ROWID 以外のフィールドデータから個別バッファオブジェクトを生成中に MapInfo Professional が終了する。
19013	MapBasic においてユーザがバッファを変数に作成する際にワーニングが表示されることがある。
18837	特定の環境において、MapInfo Professional でオブジェクト > ノード追加操作をするとエラー表示されることがある。ただし、MapBasic から同じコマンドを実行すると正常動作する。

18631	MapInfo Professional 6.5 で特定のオブジェクトの結合が失敗する。バージョン6.0 では同じ操作をして正常動作する。
18553	特定の環境において、オブジェクト>クリーニングの操作をしても複合オーバーラップリージョンのクリーニングが正しく行われない。
18540	特定のデータに対してオブジェクト>オーバーラップ内消去、クリーニング、スナップ操作を行うとエラーが発生する。
18243	特定のデータに対してオブジェクト>クリーニングまたはスナップ/軽量化を行うと、処理が実行できないというエラーが発生する。
17987	特定の環境においてオブジェクト>オーバーラップ内消去を行うと、編集ターゲット範囲以外のオブジェクトまで消去される。
16744	特定の環境において、あるデータに対してオブジェクト>クリーニング操作を行うと、クリーニングされたデータに重複部分が発生する。
16725	特定のデータおよびオブジェクトに対してオブジェクト>スナップ/軽量化を行うと、エラーが発生すべきでない場合にもエラーメッセージが表示されてしまう。
16325 15030 13657	負の値から作られたバッファによって正しくない実行結果がもたらされる場合がある。
16257	あるオブジェクトが完全にもう一つのオブジェクト内に含まれている時、オブジェクト>オーバーラップ内消去を行ってもオブジェクトを消去できない。
16231	特定のデータおよびオブジェクトに対してクリーニング操作を行った際、予期しないエラーが発生することがある。
15873	特定のデータおよびオブジェクトに対してオーバーラップ外消去を行った際、間違った処理結果になることがある。
13129	他のポリゴン内に完全に含まれているポリゴンに対してリージョンの検査を行うと、処理が失敗する。

DBMS

インシデント No.	内容
19535	時計回りで作成されたポリゴンに対して Validate_Geometry コマンドを実行すると Oracle エラーが発生する。
18761	MapInfo ドライバ経由でオブジェクトフィールドを持たないテーブルにアクセスすると、レコードが 1件もダウンロードされない。
18049	Oracle 8.1.6 および 8.1.7 上で動作する特定のバグクエリが Oracle 9i では正しく動作しない。
17814	Oracle 9i 上のテーブルがカスタム投影法を含む場合、テーブルオープンに失敗する。
17122	SpatialWare SQL Server テーブルを MapInfo Professional 6.5 にダウンロードし、デスクトップ上にドラッグ&ドロップするとエラーが発生することがある。
16468	オブジェクトフィールドを持たない SQL Server テーブルをダウンロードするとブラウザの動作が非常に遅くなる。
18047	SpatialWare for Microsoft SQL Server で演算式を含むクエリを実行するとエラーが発生する。
17210	MapInfo Professional にダウンロードした SQL Server テーブルレコードを追加するとエラーが発生する。この現象は Set Identity_Insert On 文が発行された際に起きる。

16881	SQL Server 7 上の SpatialWare で特定のクリッピングクエリを実行すると、MapInfo Professional が終了することがある。
16467	オブジェクトがセレクションクエリ内にある SQL Server テーブルをダウンロードする際、オブジェクトフィールドのダウンロードを行わないと、ブラウザテーブルがグレーアウトされたレコードを含んだ状態で表示される。
15823	OCI 接続時に MapBasic コマンド Server_GetodbcHConn() が値を返す。

その他

インシデント No.	内容
19480	Windows98 でオブジェクト> オーバーラップ外消去を使用している場合、マップ>クリップ領域を設定コマンドで WMFフォーマットのカスタムシンボルを保存できない。
19469	特定の環境においてマップウィンドウを WMFフォーマットで保存しようとする、MapInfo が終了する。マップウィンドウは必ずラスタレイヤとカスタムビットマップシンボルを含むレイヤの両方を含まなければならない。
19465	特定の環境において、マップウィンドウ上でラスタレイヤを削除した後に追加を行うとエラーが発生する。
19396	クリップされたグリッドを使った3Dマップウィンドウが MapInfo Professional 6.5 で動作しない。MapInfo Professional 6.0 では動作する。
19251	Windows 2000 上でレイアウトウィンドウ内の透過性グリッドが EMFまたはWMFフォーマットで正しく保存されない。
19220	投影法ファイルから緯度 / 経度テーブルに対してのアフィン変換または境界指定アフィン変換が正しく行われない。
19121	Windows98 上で、プリズムマップを含む特定のレイアウトウィンドウを WMFファイルとして保存しようとする、MapInfo Professional が終了する。
19120	カスタムビットマップシンボルのロード中、MapInfo Professional がロードできない(例: サイズが大きすぎる)ビットマップがあると処理が停止する。
19038	同一レイヤ内に HotLink を含むフィールドが複数存在する場合に HotLink ツールが動作しない。
18851	MapInfo Professional 6.5 で特定の .TFW ファイル(Macintosh ファイルフォーマット)が正しく読み込まれない。
18372	特定の環境において3つ以上のテーブルを結合すると MapInfo Professional が終了する。
18437	それぞれ異なるテンプレートを使って2つ以上の主題図を作成すると、MapInfo Professional 6.5 が終了する。
17865	特定のコードを含んだ MapBasic プログラムの実行時にメモリ関連エラーが発生する。
17792	ポイント / マルチポイントを含むデータに対して "Entirely Within" 構文を含むSQL文を実行すると、誤った実行結果が返される。
17401	グリッド主題図を含んだ Selection テーブルに対してもプリズムマップ作成処理が選択可能になる。
17332	特定の環境において Selection テーブルに対して更新を行うと、元のテーブルの間違ったフィールドが更新されてしまう。
16288	スタートアップ設定において、「MapInfo 開始時に MAPINFOW.WOR を読み込む」が選択できない。
14650	統合マッピングコードの実行で「トラップできませんでした」とダイアログが表示される。

11966	クリップされた領域を含むマップウィンドウから 3Dマップを作成すると、マップが正しく生成されない。
19242	MapInfo Professional 6.5 内で特定の Microsoft Excel ファイルを開くとMapInfo が終了することがある。
19556	登録されたラスターイメージ上に描かれている線オブジェクトが、ビューの移動を行った後に場所が移動される。
19543	Create Object("MapInfo.Runtime") 文が実行されると、統合マッピングが正しく動作しない。
19136	MapInfo カスタムシンボルを持つレイアウトウィンドウを、「ウィンドウに名前をつけて保存」でWMFファイルへ保存するといくつかのビットマップが黒ヌキに変わる。

IV. その他

パッチインストーラについて

パッチをインストールした後にオリジナルの MapInfo Professional 6.5 のCDから ODBC Support for MapInfo をインストールした場合は、パッチをもう一度インストールする必要があります。

SpatialWare

サーバ上の SpatialWare for SQL Server では、引用識別子は必ず設定されていなければなりません。MapInfo SQL Server ドライバでも同様に必須です。

ODBC テーブル

特定のインスタンスにおいて、キャッシュを設定せずにダウンロードされた ODBCテーブルの分離を実行すると、MapInfo Professional が終了する可能性があります。